

# 『時事直言』 No.1461 2021年3月3日

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[mail] [info@chokugen.com](mailto:info@chokugen.com)

[twitter 日本語] [t\\_masuda2019/](https://twitter.com/t_masuda2019)

[twitter 英語] [T\\_Masuda\\_eng/](https://twitter.com/T_Masuda_eng)

[instagram] [t\\_masuda2019/](https://www.instagram.com/t_masuda2019/)

[Youtube] [増田俊男チャンネル/](#)



時事評論家 増田俊男

## 水面下で進む「2025年体制」！

2025年とは、1971年8月15日にニクソンショックの名の下に突如廃止になった金本位制が復活する年である。

2020年10月からIMF(国際通貨基金)で超秘密裏にドル基軸廃止に伴う新基軸と金本位制の検討が行われ、2024年10月のIMF総会で決議される。

2025年から世界経済は、 $1 + 1 = 20$ の仮想経済から金本位制下の $1 + 1 = 2$ のバブル無き実体経済の時代になる。

「小冊子」Vol. 120の内容を大幅に変更して、水面下で進んでいる「2025年体制」について多くのページを使うことにした。

FRB(連邦準備理事会)は合衆国の債権者であるから政府が無駄使いをしないよう財政健全化を求めることは当然である。

だからバイデン大統領が前FRB議長のイエレン女史を財務長官に任命したことは財政健全化を目指していると誰しも思った。

ところがイエレンは財務長官就任と同時に「大きいことはいいことだ」と言ったと思いきや、無駄が多過ぎると共和党から非難されている民主党が掲げる\$1.9 trillion(約200兆円)の予算は小さ過ぎると述べたのだから誰しも驚いた。

無駄使いをせぬよう監視するはずが、大盤振る舞いを主張したのだから驚くのは当然である。

驚いたのはそれだけではない。

さらに現職のパウエルFRB議長がイエレンに賛同し緩和続行で超大財政出動を支援すると言うのだから二度驚きである。

バイデンのイエレン財務長官任命の裏に隠された「世界経済大転換」とは何か。

首相、財務大臣、日銀総裁も知らないうちに日本はアメリカより一歩先に新体制下に移行されようとしている。

それは一体誰の仕業で何の為なのか。

本誌ほど人生に、ビジネスに、そして投資に役立つものはないだろう。

内容の大幅変更の為入稿にまだ数日かかるが、何とか3月11日発送開始すべく努力している。

★Youtube「増田俊男チャンネル」にて毎日動画配信中！

視聴方法:Google、Yahoo などから「増田俊男チャンネル」を検索して下さい。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、事前にマスタ U.S.リサーチジャパン株式会社 (FAX: 03-3956-1313) までお知らせ下さい。